

## カゴメ株式会社

### 野菜摂取量の増加による“栄養不良の二重負荷”の改善

カゴメは、農業から生産・加工・販売と一貫したバリューチェーンを持つ世界でもユニークな企業です。1899年の創業以来、自然の恵みである野菜と果物のおいしさや栄養を活かしたもののづくりを強みとして、お客様の健康や豊かな食生活に貢献する事業を展開しております。また未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、長年にわたり様々な食育活動が続けております。

カゴメは2025年のありたい姿を『食を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的に成長できる強い企業になる』と定め、解決すべき社会課題として「健康寿命の延伸」「農業振興・地方創生」「持続可能な地球環境」を選定しております。そしてありたい姿を目指すうえで、全従業員が共有するビジョン「トマトの会社から野菜の会社」にあります。

野菜は、ビタミンやミネラルなど、さまざまな栄養素の重要な供給源です。野菜を多く摂取することは、がんや心疾患、脳血管疾患等、生活習慣病から派生するさまざまな疾患の予防に有効であることが多くの疫学研究で明らかにされています。したがって、野菜摂取量を増やすことは、低栄養によるビタミン・ミネラル不足だけでなく、過栄養による生活習慣病の発症など、“栄養不良の二重負荷”の予防・改善に貢献できると考えられます。

カゴメは、人々に野菜を摂ることの大切さを丁寧に伝え、忙しい毎日においても無理のない上手な野菜のとり方をおすすめし、更には魅力的な野菜の商品を開発することで「健康寿命の延伸」に貢献したいと考えております。そして野菜消費量を増やす活動を通じて「農業振興・地方創生」の力になりたいと考えております。「持続可能な地球環境」はこれらを実現するために必要となる経営基盤であり、環境に優しい事業活動に努めております。

カゴメはステークホルダーとの連携やオープンイノベーションを積極的に推進し、以下の事業活動を実施することで、栄養問題の解決に貢献してまいります。

- 野菜の栄養機能を活かした商品（生鮮、加工品）を広く提供します。
- 食育支援活動に積極的に取り組み、子どもたちに食に関する正しい情報や楽しい体験を提供します。
- 野菜摂取量推定機「ベジチェック®」を活用し、野菜摂取量の向上を促す仕組みを構築し、広く提供します。
- 貧困や孤食など多様な境遇にある子どもたちへ、食事と安心できる居場所を提供する子ども食堂の活動を支援します。

## <目標・取組>

- Goal1：野菜摂取が不足している者にその摂取を増やす行動変容を起こすために、皮膚カロテノイドレベルから野菜摂取レベルを推定する「ベジチェック®」を用いて、自身の野菜摂取レベルを確認する機会を2025年末までに累計で1,000万回提供している。
- Goal2：日本における野菜の1日の目標摂取量が350gであることを認知している者の割合を、現在の14.2%から30%以上に引きあげる。
- Goal3：メタボリックシンドローム改善、認知機能改善に関連する機能性表示食品を新たに3つ国内市場に導入し、日々の食事で健康を維持していきたい人々に届ける。
- Goal4：野菜栽培を通じて野菜が好きになるプログラムが組み込まれた保育を受けている子供の数を、2025年時点で累計30,000人以上にする。
- Goal5：貧困や孤食など、多様な境遇にある子どもたちへの食事の提供と安心できる居場所づくりを担う「子ども食堂」の活動の持続を目的とした資金の助成（助成金額:約15,000千円／年）を継続的に行なう。

## <達成状況（2024年末時点）>

- Goal 1：2024年末時点で1300万回以上提供済。
- Goal 2：2024年の調査で15.8%（カゴメ調べ）。
- Goal 3：2024年末時点で以下の関連3商品を導入または届出済。  
・野菜一日これ一本トリプルケア、日本のトマト（導入済）  
・サエルン（届出済）
- Goal 4：2021年～2024年の累積で約15,800名にプログラムを提供。
- Goal 5：カゴメみらいやさい財団を通して、2023年度はこども食堂83団体に対して助成金2,900万円、2024年度はこども食堂92団体に対して、助成金3,263万円の給付を実施。

## <目標に向けた今後の取組>

- Goal1：目標達成済。
- Goal2：野菜摂取と健康との関係性の科学的エビデンスを定期的に発信するとともに、「野菜をとろうキャンペーン」での情報発信の多点化によりお客様の「自覚」と「理解」を促す。
- Goal3：届出済商品の市場導入（1商品）または新規機能性表示食品の届出と市場導入（1商品以上）。
- Goal4：当初予定の園児に対するアプローチに加え、小中学校のしょくいく（植育・食育）授業を実施することで当初予定以上の成果を見込む。
- Goal5：現状の取り組みを継続

### < 関連情報 >

[https://www.kagome.co.jp/library/company/about/pdf/pdf/kagome\\_story\\_2024.pdf](https://www.kagome.co.jp/library/company/about/pdf/pdf/kagome_story_2024.pdf)

[https://www.kagome.co.jp/library/company/ir/json/news/upload\\_file/tdnrelease/2811\\_20240328561431\\_P01\\_.pdf](https://www.kagome.co.jp/library/company/ir/json/news/upload_file/tdnrelease/2811_20240328561431_P01_.pdf)

<https://kagome-miraiyasai.or.jp/support/>

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 食料システムの変革        | <input checked="" type="checkbox"/> 個人の栄養に関する行動変容の促進 |
| <input type="checkbox"/> 食関連産業のイノベーションの推進 | <input checked="" type="checkbox"/> 途上国・新興国の栄養改善への支援 |

### 【企業・団体の概要】

カゴメ株式会社：東京本社 〒103-8461

東京都中央区日本橋浜町3-21-1 TEL：0120-401-831